

<Vol.41の記事>

H16 NPO法人社員総会と記念パーティーが開催されました 一緒にプロジェクトをやりませんか!?

【NPO法人社員総会 正会員は47名に!】

6月27日(日)午後3時から、さいたま市ときわ会館で平成16年度NPO法人浦和スポーツクラブの初の社員総会が開催されました。

当日までに法人の社員(正会員)として入会希望を表明された方は実に47名! 出席者数22名、委任状20名で定足数に達し、総会は成立しました。

倉持理事長の挨拶の後、前年度の事業報告、決算報告、監査報告がなされました。

監査を担当した宮原監事(会計士)からは、会員が増えていることから、会員の情報管理に特に留意していくことなどの助言がなされました。

決算の概略は以下のとおりです。

<収入>

年度収入：16,911,025円

クラブ会員会費	： 15,573,880円
賛助会費	： 480,100円
その他	： 857,045円

<支出>

年度支出：16,603,470円

事業費	： 9,404,136円
事務費	： 2,794,797円
特別費	： 4,404,537円
(広場ユニ、ハイエース)	

<収支>

次年度繰越：2,105,402円

年度収支	： +307,755円
前年度繰越	： 1,797,847円

決算報告等の詳細については、後日、ホームページで公表するとともに、クラブ会員の皆様にも資料をお届けするようにしていきたいと考えています。

その後、今年度の事業計画と予算案の説明がなされました。



倉持理事長挨拶

これについて、次のような意見交換がされました。

Q. 浦和スポーツクラブとして総合型を目指すのか？
今年度展開していくのか？

A. 以前から目指してはいたと思うが、実際には、そのスタッフもいなかったし、それを特にやりたいという会員もいなかった。これからは、この法人という組織を、他の種目の活動をしたい人達に活かしてもらうような形で展開していければ、無理のないやり方ができると思う。

Q. 学校などの公共施設を優先的に借りることはできないのか？

A. まだ難しいと思う。ただ、指定管理者制度と

いう公共施設の運営管理を、民間企業やNPOに委託できる法制度も整備されてきており、将来的には可能性がないわけではない。実際に、学校の体育館などの管理を地域SCが請負っている例もでてきている(注:以前、ニュースで紹介した愛知県半田市の成岩(ならわ)SCは、成岩中学校の体育施設の運営管理をしています。)

Q. 新規のプログラムの規模はどのくらいを見込んでいるのか？

A. 正直言うと、想像ついていない。エアロビなどはある程度いけると思う。30~40人、施設の容量で一杯になると思う。陸上はまったくわからない。でも、駒場スタジアムの周りやクラブハウスの横から駒場スタジアムに続く天王川緑道などはウォーキングやジョギングをしている人達がたくさんいるので、取り込めるのではと期待もしている。



会議状況1



会議状況2

さらに、今年度の事業計画として、会員参加型で以下のようなプロジェクトを進めることが提案され、承認されました。

正会員以外の方々でも、関心のあるテーマがありましたら、事務局までお声をおかけください。

ぜひ、一緒に取り組んで、クラブライフを充実させていきましょう。

施設確保プロジェクト

活動の安定と、発展にむけて施設の安定確保に取り組むチームです。

R&Tリーグプロジェクト

今年度からはじめたRTリーグを軌道に乗せるためのチームです。

総合型SC・他種目連携プロジェクト

他の団体などと連携して、プログラムを増やしていくチームです。

・陸上グループ

・テニスグループ

・ヨガ、ステップ体操プロジェクト

講演会プロジェクト

スポーツや健康に関する講演会を、地域のスポーツ関係者などを対象に開催するチームです。

クラブ魅力アッププロジェクト

クラブ会員が楽しい、入ってよかったと思えるクラブにするために何があるといいかを考え、実行していくチームです。

社会貢献プロジェクト

スポーツ用品のリサイクルや海外への寄付など、社会貢献事業を企画実施するチームです。

【記念パーティー盛大に！】

総会に引き続き、記念パーティーを浦和駅近くのイタリアンレストランで開催しました。

下は3歳から上は70歳以上まで総勢45名が参加してくださいました。

倉持理事長のご挨拶、相川名誉会長の祝辞をいただいた後、八木顧問(前副会長、さいたま市レクリエーション協会会長)の乾杯の音頭で宴席が始まり、約3時間、グランドを離れた場所でのいつもと違う楽しい時間を過ごしました。

設立以来、支援をしてくださってきた小菅さん、紀内



県広域スポセン 林さん



相川名誉会長と歓談

さんといった賛助会員の方々や、REDS森GMをはじめ、NPO法人さいたまSCの染谷専務理事、市民リーグの小池委員長、本太レディースの小島部長など、浦和SCに縁のあった方々がご参加され、クラブ創設時の裏話から、将来にむけた盛大なエールまでいただきました。



グランド外での交流も



REDS森GMと林田さん

【文部科学省 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業の対象クラブに指定されました】

文部科学省は今年度創設した標記の事業に、全国46都道府県で243のクラブを指定しました。埼玉県からは11クラブが指定され、浦和SCも、このうちのひとつとして指定されています。

そのほか、さいたま市内では、北浦和総合型スポーツレクリエーションクラブをつくる会、中央スポーツクラブ、クラブシャークス、NPOフィジカルコミュニケーションなど4団体が指定されています。

この結果、最長2年間、年300万を限度に補助が受けられることとなりました。

浦和SCでは、総合型への展開を、今年度の活動目標の重点としてとらえていることから、その活動を、支えるものとして助成金を有効に使っていききたいと考えています。

【池森さん 全国大会に出場！】

このたび、シニアコースの池森さんが、50歳以上のチームを対象とした東京都選抜チームの一員として、みごと関東大会を勝ち抜き、全国大会に出場することがまりました。チームには代表経験者の方もおられ、全国制覇を狙っているとのこと。

ユニフォームの下には、ぜひ浦和SCと書いたシャツを着ていただき、ゴール後にはユニフォームを脱ぎ捨てて派手にアピールしてもらいたいと思います。池森さん談「学生の時に、果たせなかった夢を、ぜひかなえたいと思います！」とのこと。

大会は、8月末に秋田で行われるそうです。頑張ってください！！